

検討会資料3 「熊野川河川整備計画の策定に向けて」について

1. 目的（位置づけ）の確認

「熊野川河川整備計画の策定に向けて」の目的（位置づけ）については、第7回懇談会で以下の内容とすることになりました。

- ① 河川整備計画に対する懇談会からの意見の基本的な方向性を示す。
- ② 熊野川流域の現状を整理し、河川管理者や市町村、その他団体が、今後熊野川の整備や活用、自然・文化環境の保護・保全等を行う際に直面するであろう課題に対して、問題解決の一助となるよう専門家の立場から意見を述べその方向性を示す。
- ③ 流域住民に熊野川に関する情報を提供する。

2. 課題構成について

(1) 修正項目について

分野別担当委員により修正された課題項目は以下のとおりです。

《 修正点 》

- ① 利水の課題である「2.2(5)熊野川利水の動向」を削除する。内容については「IV. 整備計画の策定に向けて」において反映させる。
- ② 利水の課題に「2.2(5)漁業」を追加する。

2. 利用・利水の現状と課題

2.2 課題

- (1) 都市用水
- (2) 農業用水
- (3) 発電用水
- (4) 観光舟運用水
- (5) 熊野川利水の動向 ← 漁業

- ③ 歴史文化の課題「4.2.2(5)ふさわしい川づくりの空間創出」の課題の名称を「ふさわしい川づくりの理念を」に変更する。

4. 社会環境の現状と課題（歴史文化）

4.2 課題

4.2(2) 歴史文化

- ① 歴史と伝承の調査
- ② 歴史文化の継承方策
- ③ 資産の保全と復元
- ④ 魅力発信の手だて
- ⑤ ふさわしい川づくりの空間創出 ← ふさわしい川づくりの理念を
- ⑥ 川に親しむ住民意識の向上

- ④ 景観の課題「4.2(3)景観②新施設への景観配慮」を削除し、ここに「②クリーンな熊野川」という課題タイトルで「④景観デザインの統一」の内容を記述する。（「④景観デザインの統一」という課題は削除）

4. 社会環境の現状と課題（景観）

4.2 課題

4.2(3) 景観

- ① 人工構造物の景観整備
- ② 新施設への景観配慮 ← クリーンな熊野川〔内容：景観デザインの統一〕
- ③ 自然林の保全と復元
- ④ 景観デザインの統一
- ⑤ 世界遺産にふさわしい景観形成

(2) 課題項目に関する意見について

課題項目に関する意見は以下のとおりです。

《 意見 》

- ① 治水の課題「1.2(4)山林、治山の総合的推進」と「3.2(2)濁水の長期化・発生源対策」の課題項目の内容が重なるのではないか。(⇒緑色の項目)
- ② 景観を扱う項目を整理する必要があるのではないか。(⇒青色の項目)
「3.2 (4)河川景観（流砂と河川形状および河川敷と河岸の植生管理）」
「4.2 (2)歴史・文化 ⑤ふさわしい川づくりの空間創出」
「4.2 (3)景観の各課題項目」
- ③ 「3.2(1)瀬切れによる魚類等への影響」において、瀬切れは魚類へあまり影響を及ぼさないのではないか。(むしろ地域振興のリバーツーリズムの開発に関わる課題となるのではないか。)(⇒茶色の項目)
- ④ 課題項目のタイトルの付け方は全体でバランスがとれているか。
・課題項目を()で示している箇所と ○ で示している箇所がある。
(⇒()で分野内の小区分を示し、○で課題項目を示してはどうか。)

<目次構成(案)>

I. はじめに

II. 熊野川流域の概要

III. 流域の現状と課題

1. 治水の現状と課題

1.1 現状

1.2 課題

- (1) 目標流量の設定
- (2) 段階整備
- (3) ダム貯水池群の運用の基本的考え方
- (4) 山林、治山の総合的推進
- (5) 浸水被害の軽減のために
 - ①ソフト対策
 - ②ハード対策
- (6) 流砂河床変動、海岸侵食
- (7) 地震・津波にそなえる
- (8) 流域全体で連携した河川整備とソフト対策

2. 利用・利水の現状と課題

2.1 現状

2.2 課題

- (1) 都市用水
- (2) 農業用水
- (3) 発電用水
- (4) 観光舟運用水
- (5) 漁業

3. 自然環境の現状と課題

3.1 現状

3.2 課題

- (1) 瀬切れによる魚類等への影響
修正案)削除し内容は原因を(3)発電用水に、結果を(4)観光舟運用水(5)漁業に示す。
- (2) 濁水の長期化・発生源対策
修正案)発生源対策を1.2(4)山林、治山の総合的推進にまとめる。
- (3) 水質の劣化(大腸菌対策)・下水道整備
- (4) 河川景観(流砂と河川形状および河川敷と河岸の植生管理)
修正案)河川景観の文字をとり、()の内容を課題とする。
- (5) 生息生物(植物・魚類)の把握と外来魚対策
- (6) 地域特性を活かした多自然川づくりの推進

4. 社会環境の現状と課題(地域振興)

4.1 現状

4.2 課題

- (1) 地域振興
 - ① 農林業の活性化と農林地の活用
 - ② 高齢者の活用とIターン・Uターンの推進
 - ③ 流域ネットワークの形成
 - ④ リバーツーリズムの開発
 - ⑤ 観光産業クラスターの形成

(2) 歴史・文化

- ① 歴史と伝承の調査
- ② 歴史文化の継承方策
- ③ 資産の保全と復元
- ④ 魅力発信の手だて
- ⑤ ふさわしい川づくりの理念を
- ⑥ 川に親しむ住民意識の向上

(3) 景観

- ① 人工建造物の景観整備
- ② クリーンな熊野川
- ③ 自然林の保全と復元
- ④ 世界遺産にふさわしい景観形成

IV. 整備計画の策定に向けて

V まとめ

3. 全体作成イメージについて <ページ配分イメージ>

構 成	案1	案2	備 考
はじめに	1	1	
I. 熊野川流域の概要	4	6	流域全体の概要
II. 流域の現状と課題	53	72	
1. 治水の現状と課題	13	18	
1.1 現状	4	4	現状と課題抽出
1.2 課題(9項目)	9	14	課題への意見
(1) 目標流量の設定	1	1.5	
(2) 段階整備	1	1.5	
(3) ダム貯水池群の運用の基本的考え方	1	1.5	
(4) 山林、治山の総合的推進	1	1.5	
(5) 浸水被害の軽減のために(ソフト対策、ハード対策)	2	3	
(6) 流砂河床変動、海岸侵食	1	1.5	
(7) 地震・津波にそなえる	1	1.5	
(8) 流域全体で連携した河川整備とソフト対策	1	1.5	
2. 利用・利水の現状と課題	8	11	
2.1 現状	3	3	現状と課題抽出
2.2 課題(5項目)	5	8	課題への意見
(1) 都市用水	1	1.5	
(2) 農業用水	1	1.5	
(3) 発電用水	1	1.5	
(4) 観光舟運用水	1	1.5	
(5) 漁業	1	1.5	
3. 自然環境の現状と課題	9	12	
3.1 現状	3	3	現状と課題抽出
3.2 課題(6項目)	6	9	課題への意見
(1) 瀬切れによる魚類等への影響	1	1.5	
(2) 濁水の長期化・発生源対策	1	1.5	
(3) 水質の劣化(大腸菌対策)・下水道整備	1	1.5	
(4) 河川景観(流砂と河川形状および河川敷と河岸の植生管理)	1	1.5	
(5) 生息生物(植物・魚類)の把握と外来魚対策	1	1.5	
(6) 地域特性を活かした多自然川づくりの推進	1	1.5	
4. 社会環境の現状と課題	23	31	
4.1 現状	8	8	現状と課題抽出
4.2 課題	15	23	課題への意見
(1) 地域振興(5項目)	5	8	
① 農林業の活性化と農林地の活用	1	1.5	
② 高齢者の活用とUターン・Jターンの推進	1	1.5	
③ 流域ネットワークの形成	1	1.5	
④ リバーツーリズムの開発	1	1.5	
⑤ 観光産業クラスターの形成	1	1.5	
(2) 歴史文化(6項目)	6	9	課題への意見
① 歴史と伝承の調査	1	1.5	
② 歴史文化の継承方策	1	1.5	
③ 資産の保全と復元	1	1.5	
④ 魅力発信の手だて	1	1.5	
⑤ ふさわしい川づくりの理念を	1	1.5	
⑥ 川に親しむ住民意識の向上	1	1.5	
(3) 景観(4項目)	4	6	課題への意見
① 人工構造物の景観整備	1	1.5	
② クリーンな熊野川	1	1.5	
③ 自然林の保全と復元	1	1.5	
④ 世界遺産にふさわしい景観形成	1	1.5	
III. 整備計画の策定に向けて	5	5	整備の方向性
IV まとめ	1	1	
計	63	85	
河川用語集	14	14	

■ [案1] のページ配分例

☰ : 概要その他

☒ : 現状

☑ : 課題

<p>表紙</p>	<p>はじめに</p>	<p>目次</p>	<p>I. 熊野川流域の概要</p> <p>①</p> <p>1</p>
<p>〔熊野川流域の概要〕</p> <p>②</p> <p>2</p>	<p>〔熊野川流域の概要〕</p> <p>③</p> <p>3</p>	<p>〔熊野川流域の概要〕</p> <p>④</p> <p>4</p>	<p>II. 流域の現状と課題</p> <p>1. 治水の現状と課題</p> <p>1.1 現状</p> <p>①</p> <p>5</p>
<p>〔現状（治水）〕</p> <p>②</p> <p>6</p>	<p>〔現状（治水）〕</p> <p>③</p> <p>7</p>	<p>〔現状（治水）〕</p> <p>④</p> <p>8</p>	<p>1.2 課題</p> <p>(1) 目標流量の設定</p> <p>①</p> <p>9</p>
<p>〔課題（治水）〕</p> <p>(2) 段階整備</p> <p>①</p> <p>10</p>	<p>〔課題（治水）〕</p> <p>(3) ダム貯水池群の運用の基本的考え方</p> <p>①</p> <p>11</p>	<p>〔課題（治水）〕</p> <p>(4) 山林、治山の総合的推進</p> <p>①</p> <p>12</p>	<p>〔課題（治水）〕</p> <p>(5) 浸水被害の軽減のために(ソフト対策)</p> <p>①</p> <p>13</p>

≡ : 概要その他 ≡ : 現状 ≡ : 課題

〔課題（治水）〕
 (5) 浸水被害の軽減の
 ために（ハード対策）

14

〔課題（治水）〕
 (6) 流砂河床変動、海岸
 侵食

15

〔課題（治水）〕
 (7) 地震・津波にそなえ
 る

16

〔課題（治水）〕
 (8) 流域全体で連携した
 河川整備とソフト対策

17

2. 利用・利水の現状と課題
 2.1 現状

①

18

〔現状（利用・利水）〕

②

19

〔現状（利用・利水）〕

③

20

2.2 課題
 (1) 都市用水

21

〔課題（利用・利水）〕
 (2) 農業用水

22

〔課題（利用・利水）〕
 (3) 発電用水

23

〔課題（利用・利水）〕
 (4) 観光舟運用水

24

〔課題（利用・利水）〕
 (5) 漁業

25

3. 自然環境
 2.1 現状

①

26

〔現状（自然環境）〕

②

27

〔現状（自然環境）〕

③

28

2.2 課題
 (1) 瀬切れによる魚類等
 への影響

29

≡：概要その他 ≡：現状 ≡：課題

<p>〔課題（自然環境）〕 (2)濁水の長期化・発生源対策</p> <p style="text-align: center;">30</p>	<p>〔課題（自然環境）〕 (3)水質の劣化(大腸菌対策)・下水道整備</p> <p style="text-align: center;">31</p>	<p>〔課題（自然環境）〕 (4)河川景観(流砂と河川形状および河川敷と河岸の植生管理)</p> <p style="text-align: center;">32</p>	<p>〔課題（自然環境）〕 (5)生息生物(植物・魚類)の把握と外来魚対策</p> <p style="text-align: center;">33</p>
<p>〔課題（自然環境）〕 (6)地域特性を活かした多自然川づくりの推進</p> <p style="text-align: center;">34</p>	<p>3. 社会環境 3.1 現状 (1)地域振興の現状</p> <p style="text-align: center;">①</p> <p style="text-align: center;">35</p>	<p>〔現状（地域振興）〕</p> <p style="text-align: center;">②</p> <p style="text-align: center;">36</p>	<p>〔現状（地域振興）〕</p> <p style="text-align: center;">③</p> <p style="text-align: center;">37</p>
<p>(2)歴史文化の現状</p> <p style="text-align: center;">①</p> <p style="text-align: center;">38</p>	<p>〔現状（歴史文化）〕</p> <p style="text-align: center;">②</p> <p style="text-align: center;">39</p>	<p>〔現状（歴史文化）〕</p> <p style="text-align: center;">③</p> <p style="text-align: center;">40</p>	<p>(3)景観の現状</p> <p style="text-align: center;">①</p> <p style="text-align: center;">41</p>
<p>〔現状（景観）〕</p> <p style="text-align: center;">②</p> <p style="text-align: center;">42</p>	<p>3.2 課題 (1)地域振興 ①農林業の活性化と農林地の活用</p> <p style="text-align: center;">43</p>	<p>〔課題（地域振興）〕 ②高齢者の活用とＩターン・Ｕターンの推進</p> <p style="text-align: center;">44</p>	<p>〔課題（地域振興）〕 ③流域ネットワークの形成</p> <p style="text-align: center;">45</p>

☐：概要その他 ☐：現状 ☐：課題

〔課題（地域振興）〕
 ④リバーツーリズムの
 開発

46

〔課題（地域振興）〕
 ⑤観光産業クラスター
 の形成

47

(2) 歴史文化
 ①歴史と伝承の調査

48

〔課題（歴史文化）〕
 ②歴史文化の継承方策

49

〔課題（歴史文化）〕
 ③資産の保全と復元

50

〔課題（歴史文化）〕
 ④魅力発信の手だて

51

〔課題（地域振興）〕
 ⑤ふさわしい川づくり
 の理念を

52

〔課題（地域振興）〕
 ⑥川に親しむ住民意識
 の向上

53

(3) 景観
 ①人工構造物の景観整備

54

〔課題（景観）〕
 ②クリーンな熊野川

55

〔課題（景観）〕
 ③自然林の保全と復元

56

〔課題（景観）〕
 ④世界遺産にふさわし
 い景観形成

57

Ⅲ. 整備計画の策定
 に向けて

①

58

〔整備計画の策定に向けて〕

②

59

〔整備計画の策定に向けて〕

③

60

〔整備計画の策定に向けて〕

④

61

☰ : 概要その他 ☰ : 現状 ☰ : 課題

(整備計画の策定に向けて) ⑤ 62	IV. まとめ 63	河川用語集	(用語集)
----------------------------------	-------------------	-------	-------

(用語集)	(用語集)	(用語集)	(用語集)
-------	-------	-------	-------

(用語集)	(用語集)	(用語集)	(用語集)
-------	-------	-------	-------

(用語集)	(用語集)	(用語集)	(用語集)
-------	-------	-------	-------

(参考) 文章作成内容について(案)

文章作成にあたり、参考として各項目の作成内容の例を示します。

はじめに

○作成に至る経緯をまとめ、目的、作成に込めた想いや活用方法について示す。

例)・熊野川懇談会の概要

- ・「河川整備計画の策定に向けて」作成に至る経緯
- ・作成の目的
- ・作成における熊野川への想い、感想等
- ・キャッチフレーズ(熊野川のあるべき姿)の説明
- ・その他

I. 熊野川流域の概要

○熊野川の特性や流域の自然環境、歴史文化を含む社会環境の概要について示す。

例)・熊野川流域の諸元(流路延長、流域面積、支川等)

- ・地形・地勢・地質、
- ・流域の社会環境(関連市町村、人口、世帯数、産業等)
- ・歴史・文化(世界遺産(熊野古道)、史跡、逸話等)
- ・流域の自然環境(気象、植生、希少生息種、自然公園等)
- ・治水の概要(降雨特性、これまでの被害、流況、治水事業の歴史等)
- ・流域の水利用(農業用水、発電用水、ダム)の歴史)
- ・河川利用(舟運、輸送、観光利用等)

II. 流域の現状と課題

① 現状

○それぞれの分野の現状や問題点を示し、課題項目へと結びつける。

例1)・○○○○○○○○○といった現状があり問題となっている。

- ・○○○○○○○○○といった現状があり、△△△△△が課題である。
- ・○○○○○○○○○といった現状となっており、△△△△△が課題である。

例2)・○○○○○○○○○といった現状がある。

- ・○○○○○○○○○といった現状となっている。
- ・○○○○○○○○○といった現状があり問題となっている。
- ・これらの現状を踏まえ○○分野の課題を以下の通りとする。

課題① △△△△△△△△△

課題② △△△△△△△△△

課題③ △△△△△△△△△

・・・
・・・
・・・

② 課題

○内容については、想いを述べたものから、具体的意見に至るまで様々な内容が含まれるので、ある程度統一の取れた流れを設定する。

例) 想いや考え方などの抽象的な表現の部分は前段で述べ、後段に進むに従いより具体的な内容となるようまとめる。

課題解消への想い



取組みの方向性、考え方



作業内容、具体策、参考例

Ⅲ. 整備計画の策定に向けて

- 熊野川の特性を示す。
- 熊野川で重要と考えられる問題は何かを示す。
- 熊野川のあるべき姿、目指すべき姿を示し、その姿を実現するために何が必要かを示す。
- 課題ごとの解決策を踏まえ、総合的に熊野川をあるべき姿に近づける方策を示す。
- 今後の熊野川の整備における基本的な方向性を示す。

Ⅳ. まとめ

- 熊野川の素晴らしさ
- 本書の活用方法
- 熊野川整備への協力をお願い
- お礼